

かわべ

隔月発行
 河辺村公民館
 編集
 館報編集委員会
 ☎ (089439) 2111
 佐川印刷 KK
 吉田町北小路 ☎ 2 0600

河辺村人口動態

(S57.11月1日現)

世帯数 592
 人口 2,059
 男 1,047
 女 1,012

(S55.10国調)

世帯数 647
 人口 2,009

(S50.10国調)

世帯数 666
 人口 2,368

菊の香りただようなか

第七回 村民文化祭開く

第七回村民文化祭が「豊かな心とふるさとづくり」をテーマに十月二十九日、三十日の両日、公民館を主会場に開かれ延べ七〇〇人が訪れて終日にぎわいました。展示部門は、公民館を主会場に書道、絵画、短歌、写真、趣味の作品、わが家の宝もの展。第二会場の役場では生け花、菊花、盆栽の展示が行われました。アトラクションとしては、村内小中学生の音楽発表会、グループ

発表会、生活改善グループ即売会、婦人会バザー、なんでも相談室、ビデオコーナー、マイコンコーナー、農協コーナー、森林組合コーナーなどが催されました。初日のみ行われた「わが家の宝もの展」は今年初めての試みで、各家庭で眠っている大切な珍品、骨とう品などが出品され、河辺にもこんな珍しいものがあつたのかと人々の目を惹きました。しかし、初回でPRがゆき届かなかつたせいか、やや出品数が少ない感じも見られました。二日目の午前中に催された「音楽発表会」には、村内の小中学生約三〇〇名と教師、父兄が詰めかけて会場満員となり、その熱気あふれる中で小中学生が日頃の成果を充分に出し合つて生徒、先生、父兄の交流が盛んに行われていました。また、両日おこなわれた「生活改善グループ即売会」では、五グループの会員がそれぞれ取りたての新鮮な野菜などの農産物、特製のモチや果実酒などを持ちよつて、市価より安く大サービスとあつて人気を呼び「婦人会バザー」も共にうれしい悲鳴をあげるほどの盛況ぶりでした。なお今回、一般の作品で審査がおこなわれたのは、菊花のみでした。結果は次のとおりです。

新鮮な農産物を出血大サービス



◎展示部門の出品総数四〇一点

菊花展 三〇点
 盆栽 五〇点
 書道 五二点
 絵画 七四点
 短歌 二四二点
 写真 三〇点
 生花 一五二点
 趣味の作品 七二点
 わが家の宝もの展 五四点



熱気あふれた音楽発表会



すばらしい作品に見とれる観覧者

おしらせ

昭和五十八年の成人記念式典
 とき 昭和五十八年一月三日
 ところ 河辺村公民館
 対象 S三十八年一月一日〜同年十二月三十一日生
 お願い 簡素化の時節、服装は華美にならぬよう洋服で出席しましょう

一月一日 投票日
 一月八日 成人式
 一月四日 御用始め
 一月三日 小中学校始業式
 一月二日 御用納め
 一月一日 小中学校終業式

十二月一日 消防団員非常招集
 十一月十日 卓球バトミントン大会
 十一月三十一日 年末交通安全運動期間
 十一月二十五日 小中学校終業式

農地に接する山林の

植林植栽の間隔協定について

本村農業委員会では、農地を守り紛争をなくするため、農地に隣接する山林に植林をする場合、又は農地対農地であっても、果樹等を植え付ける場合の間隔を今回協定いたしました。このことは、あくまでも農地を守ると共に、隣接農家同士の円満をはかるのが目的であり、絶対的なものとは限りません。

(河辺村農業委員会)

他人の農地からの間隔協定

植付け種目別	境界からの間隔
杉松松その他雑木	四m以上
栗柿桃梨柚等果樹	三m以上
(山林対山林)	(一m以上)

何れも滴落ちの枝等の切除は相手方と相談して行うこと。



ふるさとに望む
 五十崎町 山本 茂 慎

「ふるさと」「古里」「故郷」「郷里」
 自分の生まれ土地や自分の生まれ育った土地。または、幼少の時をすごした土地などを、いい表すなつかしいことば、そんななつかしい、思い出多い「ふるさと」に思いを寄せ、いくつかの歌を、ふるさとのみなさんといっしょに思い出してみたい。

「ふるさと」
 うさぎおいし かの山
 こぶなつりし かの川
 ゆめは いまも めぐりて
 わすれがたき ふるさと

この歌を歌つたり聞いたりするたびに、幼年時代に、かけめぐつた神納の野山や小川での遊びが浮んで、旧友をなつかしく思う。

「赤とんぼ」
 ゆうやけ こやけの
 あかたんぼ
 おおれたみたのは
 いつのひか

「花いちもんめ」
 ○ちゃん とりたや
 はいちもんめ
 かつてうれしや はいちもんめ

まけてくやしい はいちもんめ
 大ぜいのこどもたちが、運動場、手をつなぎ、日の暮れるのも忘れて、とったりとられたりして遊んだものである。野山や小川は、わたしをほぐしてくだれた忘れられない「ふるさと」である。

ふるさとのことばには、ぬくもりがあり、やさしさがあり、忘れられない、こいしがある。よそいきのことばだけでなく、河辺べんや河辺ことばも残しておきたいものである。わたしは、ふるさとを離れて二十七年になり、よわいを重ねることに、望郷の念が強まるのである。

思いつくまに、感じるままに「故郷忘れ難し」の気持ちを記したのである。

ふるさとのみなさんのご多幸とふるさと河辺の、ますますの発展を祈つてやまない。

やねばし

桃、栗、三年、柿八年、梅は酸いと十二年、柚子は大馬鹿十八年……。

一粒十円、十円と、精らしく栗拾いをした昭和五十一年。やがて、実炭素病が急激にふえ、少しづつ黒いはん点を付けている栗をポイ〜とのけ、おまけに値が安く、ガツクリときた昨年。

今年、や、値が出たらしいので、ほっとし、矢張り自分の土地で、自宅近くで仕事の出来る栗を見直した量が思った程ない。

強敵、韓国産の輸入栗が減ったという噂を聞き、あと五年もすると、手入れ、新植という事をしていないので、またすつと減るとか。一喜一憂の栗。

今年の県農業祭の品評会に出品された栗は、筑波、石鐘、岩根の三種類で、どれも一粒50g程度あり、一寸見た目には区別しにくい程、ずんぐりと黒ずんでいていかにもおいしそうだと思われる位、色つやがともよかつた。こんなに揃つた栗ばかり取れだしたら、腰の痛くなる栗拾いも楽しくなるのになあ。帰ってから、岩根を拾いに行く。岩根ばかりは当年というのか、虫くいや実炭素もなく、ポトリ〜と落ちてくる大粒の栗。すぐかこばいとなる。本当に精らしい栗拾いだつた。

栗をおいしく食へるには、渋皮をむいた栗を焼くようば少量とかした水に暫くつけるとよい。あくをぬき、色がきれいで煮くずれがしない。漬物をつける時に使つてもよく、一袋刈り入りで300円程度、何年もあつても重宝。一栗のような感じの顔というのは、日本人に多いのではないか、律儀で、勤勉で、少しガコンな中年男！ そんな連想がある。」と獅子文六が書いています。

河辺の特産品として、気候、風土に合う栗が、少しでもよい品質を、量より質をと、心がけていけるよう役場、農協のご指導を切に願っています。

そして、農業に関係する会合には、共に働き、共に楽しむ夫婦が揃つて参加をし、研究をするようになればなあ〜とも思う。

(A)

大伍分館飛躍の優勝

第 18 回 村民運動会



入 場 行 進 風 景

礼一氏)を先導者として、選手の入場行進が行なわれ、その中にも各分館のそれぞれの催しを持って参加され、華々しい開会の火ぶたが切られました。最初の対抗競技であるポテトレースから、迫力ある、力強い競技が展開され、各分館への応援の声が高々と鳴り響きました。本年度は得点も四十・三十・二十・十と一位より点数をあげ、大差がつくのではないかと心配していましたが、選手の方々の力と熱により三三〇・三三〇・二六〇・二二〇の結果となり、一種目で順位が入れ替るほどの競い合いとなりました。雨のため途中切れになりましたが、各分館長さんの協議・理解により、快い決定が下され、大伍分館が優勝されました。当日の対抗種目による順位は次の通りです。なお種目別順位も載せておきます。昭和五十八年度をめざし、意気込みみましょう。

対抗種目別得点表 (S. 57)

No	種 目 名	植松	坂本	大伍	北平
1	ポテトレース	30	20	40	10
2	二人三脚玉けり	10	20	30	40
3	300歳リレー(男)	10	20	40	30
4	年代別リレー(女)	40	30	10	20
5	竹馬競走	20	40	10	30
6	ピンつり競走	30	10	20	40
7	出たとこ勝負	30	20	40	10
8	得点かせぎ	40	20	30	10
9	年代別リレー(男)	40	10	20	30
10	安全運転	20	10	40	30
11	300歳リレー(女)	30	20	40	10
合 計		300	220	320	260
順 位		2	4	1	3

印鑑証明の登録切り替えを 手続き十二月末までに!!

昭和五十八年一月一日から「印鑑証明」の方法が変わることになり、現在、新しい方式による印鑑登録の受け付けをしております。
(1)登録の切り替え手続きを完了された方は今後、実印を持参しなくても印鑑証明が受けられます。
(2)切り替えの期限は、十二月二十八日までです。早目に実印を持って手続きにきてください。
(3)規格に合わない印鑑は改印しなければなりません。

広く住民の間に、スポーツを普及し、スポーツ精神の高揚と体力づくりの向上をはかり、住民の生活を明るく豊かにしようという大会趣旨を持って、昭和五十七年十月十日、第十八回河辺村民運動会が河辺中学校を会場に於て、青年会議の皆さん、各分館の沢山の

方々のご支援ご協力をいただき、盛大に開会されました。本年度は後半終了前に雨天に見まわれ大会の盛りあがる綱引き、他三種目が実施できなかった事が残念でした。早朝より、約九〇〇人の村民が一室に集る中、昭和五十六年度優勝の北平分館より分館長(山崎

河辺の植物シリーズ (9)

「アキノキリンソウ」

キク科

アキノキリンソウは、日当たりのよい山野に自生する多年草である。初秋から晩秋にかけて、豊かな黄色い花を咲かせる。一名アワダチソウというのは、盛り上がる黄色い花を酒を肴とした時の泡に見立てたものである。秋の山野をかざる美しい花の一つで、古歌にも「富士が嶺に生ふる秋のきりん草手折して妹ががざしとやせん」と歌われて



アキノキリンソウ

大字北平の「地番」が 変わりました

大字北平全域の地番が十月一日から新地番となりました。昭和五十二年度から大字北平の地籍調査を実施して来ましたが、それがようやく完了し、現在その登記を行なっています。従ってその地区内の地番が新地番に変更されます。本籍・住所の地番が新たになりますから運転免許証等の住所変更等を要することになります。

【登録の手続きは】

区分	手続きにくる人	持参するもの	交付されるもの
印鑑の登録	◎本人が申請する場合 ○新たに印鑑の登録をする人 ○印鑑を作りかえて登録する人 ○届けている印鑑を亡失した人 ○手帳(印鑑登録証)を亡失した人	①登録する印鑑(実印) ②本村に印鑑登録している保証人の実印	手帳(印鑑登録証)
	◎代理人が申請する場合	①登録する印鑑(実印) ②本村に印鑑登録している保証人の実印 ③代理人の印鑑(みとめ印可)	代理申請の場合は本人に照会文書を出し回答書により本人の登録意思を確認したあと手帳(印鑑登録証)を交付します。

アイロン



大洲広域事務組合へ 消防自動車寄贈される

日本損害保険協会(社団法人)から、八月三十一日に大洲地区広域消防事務組合へ、最新型の消防自動車三台目と寄贈されました。なお、この消防自動車は全国で一三三八台目、県下では二



最新型の消防自動車

住民基本台帳等の閲覧等に関する取り扱い
※戸籍類につき、住民票や戸籍附票等が必要な時は、交付の申請をしなければなりません。
※本人、夫、妻、子、孫、父母、祖父母以外の者が請求をする時は、使用する事由と役職名が必要である。
※他人からの電話による問い合わせ、照会については応じられません。
※請求事由が不当なもの認められるもの、プライバシーの侵害に及ぶもの、請求に応じられないことがあります。

同和教育シリーズ (11)

身分制度は何のためにつくったのだろう。
答 徳川家康が全国を平定して、天下の実権を握ると、「豊臣秀吉・福島正則・加藤清正・小西行長のような実力者があらわれて、天下をねらうようなことがあつては安心しておれない、天下の政権を徳川一家の手に握っておくにはどうすればよいか……」という家康の問いに「……」と、上に向けられる階級制度を取り入れて、士農工商の階級制度をつくり被支配階級が団結しないように、分裂して、互いにいがみ合い、にきみ合うように仕組んだカラクリなのです。
相手から非道な圧迫を受けたらその相手に向けて自分の立場を主張すればよいのに、相手にはたてつけずに自分より弱いものをいじめて、つまらぬ自分のウップンをはらすのです。
そして一番下に、賤民の階級があり、この階級のもの、大きなきれいな家を持つことも、又、表通りに面して家を建てることも許されません。下駄をはいてはならない、足平草履を用い、表に出るときは、胸に毛皮をさけてあるけ、柄のついた傘をさしてはならない、など人

短歌

- この希い叶わば石に当れよと
木立ちに投げぬ夏の夕ぐれ
影うつる猫柳ふみて釣人の
しぼし動かず糸みつめおりの
今日の日を生命のかぎり啼くとき
つくつく蟬の声あわれなる
旧道を敢えて登れば故郷の
童ら飲み清水なつかし
なき母に面影似るとゆきずりに
言葉をくれし人なつかしき
今日三たび呆けし友より電話あり
共に老いゆく淋しき思ふ
朝毎にわかやもめめ我の炊く
みそ汁の匂い厨に流る
明日立たん修学旅行無事なれと
肌着にそとと守り縫い込む
樹木の中吹き抜けてゆく風涼し
松の山に集材機鳴る
盆休み引潮のごと孫ら去り
片付かぬまましずけ我が家
台風のこぬを祈りつつ揚げ戸降す
濡れ縁に散る鳥はや朱し
城山の最近朝の窓に佇ち
わが故郷の山をぞ思う
- 大野 繁男
国井ミネヲ
増本喜久雄
佐伯 君子
関井恵美子
船田 末光
佐伯 範男
久保ミヤ子
松本 吉久
大西ミツマ
名本 勲滋
山本万亀子

消息 (自 5757・9・1011)

- (出生おめでとう) さいいます
百合谷 父 現裕 田中 聡
国木 清光 幸田 真実
日除 美孝 清水 健博
(結婚未なかお幸せに)
久保 安好(帯 江)
横畑まゆみ(天洲市)
塚野 靖(川 上)
古河 幸恵(天洲市)
(死)お悔み申し上げます
榎 安藤清三郎 (八六歳)
榎 谷 三崎ナミ子 (六七歳)
用山 岡本トメゴ (八九歳)
名場連 田丸 米造 (八一歳)
植松 丸橋 若道 (七一歳)
植松 大富 義政 (八五歳)
中居 片山コヲリ (七八歳)

